社会情報学研究投稿規定

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-05-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://otsuma.repo.nii.ac.jp/records/6447

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



社会情報学研究投稿規定（平成 21 年 7 月 22 日改定）

1. 投稿資格

(1) 本学部教員（非常勤講師を含む）およびその共同研究者
(2) その他編集委員会が認めた者

2. 掲載原稿

(1) 原稿は社会情報学に関係ある未発表のもので以下に掲げるものとする．
  (a) 論文
  (b) 報告 , その他
(2) 原則として，単著・共著の区別なく本誌同一号において一つの原稿に限り執筆代表者となることができる．ただし，場合によって編集委員会で執筆代表者として 2 編の投稿を許可することがある．
(3) 原稿は和文，英文のいずれかに限る．
(4) 投稿原稿の採否は紀要編集委員会が決定する．
(5) 掲載された記事の内容については，著者が全責任を負う．

3. 著作権

(1)「社会情報学研究」に掲載された論文等のすべての著作権は，大妻女子大学社会情報学部に帰属する．
(2) 上記 (1) に基づき，当学部は「社会情報学研究」の論文等の利用に関する一切の権利を行使することができる．ただし，論文等の著作者は当学部の許諾を得ずに，その掲載論文等を他に利用することができる．

原稿の執筆要領（平成 21 年 7 月 22 日改定）

1. 原稿の構成

(1) 表紙，(2) 要約，(3) 本文，(4) 引用文献，(5) 英文要約

2. 原稿の書式

原稿は A4 判縦用紙に横書きとし，パソコン用ワープロソフトを用い，1 行 22 字，1 ページ 41 行の 2 段組みで明朝体を用いて作成する．英文の場合は上下左右 30mm 程度余白をとったダブルスペース印字で A4 判 2 ～ 3 枚で刷り上がり 1 ページ相当である．

3. 原稿の長さ

原則として刷り上がり 16 ページ以内とする（図表，写真などを含む）．これを超えるものについては編集委員会の了解を必要とする．

4. 原稿の提出

原稿は印刷原稿 2 部と電子媒体（CD-R または USB フラッシュメモリに保存したもの）を提出する．図表及び写真はそれぞれ A4 判用紙 1 枚に印刷して，原稿同様 2 部提出する．なお，図表および写真はそのまま印刷できる完全原稿とし，解像度に十分に気をつける．図表や写真のカラー印刷を掲載希望する場合の費用は執筆者の負担とする場合がある．

原稿提出時には投稿申込表を同時に提出すること．

5. 原稿の記述

(1) 表紙

1ページ目は表紙とし，表題，著者氏名および所属，キーワードを，和文と英文で記入する．キーワードは5～10語とする．英文表記において，表題は，原則として各単語の頭文字のみ大文字とするが，先頭以外の冠詞，前置詞，接続詞は小文字とする．著者名は，名字は大文字，名前は頭文字のみ大文字とする．（例：Tsumako KARAKIDA）

(2) 要約

2ページ目には，和文要約（600字以内），および英文要約（ダブルスペース，200語以内）を記す．

(3) 本文

1) 3ページ以降に本文を記す．

2) 見出し番号を付ける場合は，以下のようにボールド体で記す；

大見出し　1.　2.　3.　･･･，中見出し 1.1　1.2　1.3　･･･

見出し番号をつけない場合は，見出しをボールド体で左に寄せて書く．

3) 図表および写真は本文に組み入れないこと．

a. 図および写真は一葉ずつ別紙に作成し，それぞれ図の番号，図の表題，説明などを下部に記す．

b. 表は一葉ずつ別紙に作成し，それぞれ表の番号，表の表題，説明などを上部に記す．

c. 図や表の挿入個所を本文中に明示（図1，図2，･･･，表1，表2，･･･）する．

d. 図や表はそのまま印刷できる完全原稿とし，解像度に十分に気をつける．

e. 必要な場合は，図や表の大きさを指定する．

f. 図や表および写真の転載は著者の責任で行う．著作権者または出版社等の承諾を得て，出典を明記する．

4) 注は，文章に片括弧つきの上付き数字で番号をつけ，本文の後ろで，片括弧つきの同一番号を付けて注を記す．

5) 引用文献

a. 文章中では著者名（刊行年）を記して引用する．（例：Newton（1998））．

b. 文献は，本文の最後に著者名のアルファベット順，刊行年順にまとめて記述する．文献番号は付けない．

c. 文献の引用は，原則として，著者氏名（発行年（西暦））表題．雑誌または単行本名，巻数（号数）または版数，（単行本の場合は発行所，出版都市名），ページ．の順とする．

・論文の例：河野理恵 (1999) 高齢者のメタ記憶―特製の解明および記憶成績との関係―．教育心理学研究，47，421-431.

・単行本の例２：Cooper, W. W., Seiford, L. M. and Tone, K. (2007) *Data Envelopment Analysis*. second edition. Springer-Verlag, Berlin.

6) 上記以外の詳細及び不都合などについては，編集委員会で著者の許可なく変更することがある．また，原稿の記述が執筆要領にあっていない場合には，著者に原稿を差し戻す場合がある．

6. 校正

著者による校正は二校までとする．大幅な加筆・変更は認めない．

7. 投稿申込表

投稿者は投稿申込表に必要事項を記入して，原稿提出時に一緒に提出すること．